





特別座談会

# 次代のさらなる 飛躍をめざして

北里研究所創立 100 周年・  
北里大学創立 50 周年記念事業を語る

記念事業がめざすものとは

**柴** 今日では学生の皆さんとじっくりお話ができるということで、前から楽しみにしていました。どうぞよろしくお願いたしますね。

**学生一同** よろしくお願いたします！

**柴** さて、北里大学は2012年に創立50周年、そして大学の母体である北里研究所は2014年に創立100周年を迎えますが、「Kitasato100X50プロジェクト 未来科学の創造—Pioneer the Next—」という記念事業を展開しています。この取り組みについて皆さんはどんな関心を持っていますか。ぜひ聞きたいところです。

**植田** 私はまず、今回の記念事業がどんな狙いで企画され、何を目標としているのか。その基本趣旨を、北里大学の第一期生でもある学長に教えていただきたいと思っています。

**柴** はい。まず、皆さんが学ぶ北里大学は、1962年に衛生学部だけの一学部体制でスタートしました。当時の様子は新入生だった私もよく覚えていますが、敷地には木造の北里研究所の建物だけで、校舎の形もなかったのです。入学式も倉庫のような場所に紅白の幕を張って行いました。

**坂部** え、本当ですか！

**柴** ええ。その後、徐々に学部を増やし、キャンパスや校舎、附属病院などを整えて、50年経った今、日本有数の生命科学の総合大学に成長しました。昔はお金もなかったはずなのに、先見の明を持った先輩方が果敢な決断をして大学の未来のために投資をされた。そして多くの知恵と情熱を注いでくださった。そのおかげで現在の立派な北里があるのです。ですから、それを引き継ぐ我々の使命も、50年後の人々に「素晴らしい」と言われる大学に発展させていくこと。今回の記念事業も、その飛躍の足掛かりになることをめざしています。さまざまなイベントやセレモニーだけでなく、将来を見つめた大規模なキャンパスの整備プランも記念事業プロジェクトの中に位置づけられているんですよ。

**相模原キャンパスに新校舎を整備**

**榎本** 昨年、相模原キャンパスにL1号館が新築されたのも記念事業の一環なんです。未来的で素晴らしい校舎だと思いましたが、その反面、キャンパスの象徴でもあった一般教育棟が姿を消してしまっただけは寂しい気もします。どの方向から眺めても「北」の字に見えるデザインは個性があつて魅力的でしたから。

**柴** その気持ちはよくわかります。あの建物は国立京都国際会館などを設計

1968年、相模原キャンパスに最初に建てられた校舎だった一般教育棟。昨年、その役割を終え40年以上の歴史に幕を閉じた



した大谷幸夫という有名な建築家が手がけたもので、卒業生の間でも惜しむ声は多いです。しかし、いかんせん設計も施工も古いものですから、バリアフリーの配慮がなされていないとか、雨漏りがするとか、それに食堂まで遠いなど不便もいろいろあったのです。これがL1号館の完成で解消されました。2階にある900席の大きな食堂では電子マネーが使えますし、実際に学生に試食してもらってメニューを決めるなど、利用者の視点も大切にしています。ここで食事をした学生の中には、「白いご飯ってこんなに美味しいんですね」と感激する人もいましたよ(笑)。皆さんはL1号館を利用して、どのような感想を持ちましたか。

**植田** 1階のエントランスホールにある破傷風菌をモチーフにしたタイル画は、北里らしさが出ていて素敵だと思います。エレベーターがたくさんあることや、省エネルギーに配慮して自動照明を採用しているのもいいですね。それから私が気に入っているのが教室の椅子の座り心地。以前は自分でクッションを持ち歩いていましたが、もう必要ありません。

**坂部** 同感です。私も椅子に

は大満足ですね。

**榎本** 私は2年生ですから、教養教育の授業が多いL1号館で学ぶ機会はほとんどないんです。後輩の皆さんがちょっとうらやましいです(笑)！

**植田** ただ、細かいことですけれど、2階にあるコンビニエンスストアの営業時間の表示が少しわかりにくいので、どうにかならないかと…。

**柴** それは私も気になっていたので、改善するように職員に伝えておきました。今はもう直っているはずですよ。

**植田** 知りませんでした！ありがとうございます。

**柴** 他に何か、ここを改善してほしいという要望があったら遠慮なく言ってくださいね。直せるところは、できるだけ対応していきますよ。

**歴史的遺産を未来へ継承**

**坂部** 新しい校舎も注目されていますが、北里は愛知県犬山市にある博物館明治村に移築された「旧北里研究所本館」の修復も行ったと聞きました。この竣工のときに同時開催された「北里柴三郎記念展」のオープニングセレモニーの写真を見ると、たくさんの方が列席されてかなり盛大なイベントだったようですが、どのような様子だったのですか。

**柴** まず、「旧北里研究所本館」ですが、

ん思い出があります。今回、綺麗になりすぎて、土足で入れなくなってしまうのが残念かな(笑)。

**坂部** 私は明治村には行ったことがないのですが、柴学長のお話を伺って、実際に建物を見てみたいくなりました。

**柴** ぜひ、訪ねてみてください。名古屋からのアクセスもいいですし、明治村の中でもとても目立つ場所に建っていますよ。そして、この旧北里研究所本館の修復完了に合わせて開催されたのが「北里柴三郎記念展」で、館内に北里柴三郎博士の業績や縁の品々などを展示するとともに、同じ明治村内の歴史的な建物である三重県庁舎において記念講演会も行われました。北里研究所の大村智名誉理事長と、北里研究所の相談役で北里柴三郎博士の孫である北里一郎氏のお二人が話しをされましたが、生前の北里柴三郎博士の姿がありありと目に浮かぶエピソードが満載で、私も改めて感銘を受けました。

この記念展の趣旨は、近代医学の基礎を築いた学祖の功績に触れていただくことで、学校法人北里研究所の使命や理念を伝えていくことですが、その目的は十二分に果たせたと思います。

**北里ならではの国際交流を展開**

**植田** 私も北里の歴史には関心を持つ



植田 菜梨絵さん  
薬学部1年 東京都出身

建設から95年、明治村への移築30年を迎えた昨年、傷みの目立っていた内外装を整備しました。屋根を葺くスレートという部材には、もともと国内では岩手県でしか採れない特殊な石を使っているのですが、たまたま同じ石が現在進行中の東京駅の改修工事で大量に



写真上：2010年9月に相模原キャンパスに完成したL1号館。最先端の免震構造を採用している

写真左下：L1号館エントランスでは、北里柴三郎が純培養に成功した破傷風菌をデザインしたタイル画が出迎える

写真右下：多くの学生が利用するL1号館は、スペースやエレベーターの数にも余裕を持たせている

**柴** ローベルト・コッホ研究所はもともと私立でしたが、現在はドイツ国立となっている非常に権威のある研究所です。北里研究所とは1990年にベルリ

柴 忠義

北里研究所理事長・北里大学長



使われてしまったため、わざわざフランスから輸入したんですよ。また、これまで入れなかった2階実験室もきちんと改修して一般公開を始めました。建築学的な観点からも貴重で、見どころの多い建物ですが、私が学生の頃は現役で使われていたので個人的にたくさ



### 榎本飛鳥さん

医療衛生学部2年 新潟県出身

ンで第1回合同シンポジウムを行って以来、2年ごとに東京とベルリンで交互に開催されており、今回は11回目でした。特に今年は日独交流150周年の節目に当たりますので、そのプレイベントとして、開会の式典には文部科学副大臣や駐日ドイツ大使館の参事官も列席さ

写真左：2010年10月に明治村「旧北里研究所本館」前で行われた「北里柴三郎記念展」オープニングセレモニーの様子



写真右：明治村「旧北里研究所本館」2階実験室

もあるピアノニストの方が、素晴らしいピアノ演奏を披露してくださいました。会場には相模原市民の皆さんなど約1200人ものお客さまが集まり、講演も音楽も大好評でした。毛利さんのお話の最後には、客席から次々に質問が飛び出して時間切れになるほどだったんですよ。  
**植田** 毛利さんの講演はテーマを聞くだけで面白そうですね。音楽好きな私としてはコンサートの興味深いです。医師でピアノニストなんて素敵ですね。  
**坂部** それから、医療スタッフをめざす者として、やはり気になるのが、相模原キャンパスに建設される新病院の詳細です。これも今回の記念事業の一環なのですか。  
**柴** そうです。現在、2014年春のオープンをめざして設計の最終調整をしているところです。この病院の役割は、高度な医療を提供して地域に貢献することともに、医療系学部全体の臨床教育・研究、人材育成を推進していくこと。完成すれば、質、規模ともに日本を代表する大病院になる予定です。  
**榎本** 完成予想図を見ましたけれど、壮大な計画ですね！キャンパスの風景

### 着々と進む新病院構想

**坂部** 北里にとって、いろいろな意味で昨年は大きな節目だったのです。節目と言えば、私が在籍している医学部も昨年40周年を迎えたそうですが、何かイベントは行われたのでしょうか。  
**柴** はい。6月に相模原市で記念講演



写真上：北里大学病院新病院の完成予想図。現在ある新棟と合わせ1,033床の「次世代病院」が誕生する

写真下：機能性と快適性の両立をめざす外来待合スペースの完成イメージ

日本滞在ならではの魅力も味わっていただけたようですね。  
**柴** ええ。とにかく100年以上前に結ばれたコッホ博士と北里柴三郎博士の絆を、我々がしっかり引き継ぎ、新たな交流の歴史を育んでいくことは、たいへん意義あることだと思っています。

が一変しそうです。  
**柴** 地上14階・地下1階建てで、日本最多の手術室やエレベーターを備えるなど、スケールの大きさはもちろん、病室の使いやすさや快適性、導入する医療機器やシステムも最高レベルをめざします。そして、このようなハード面以上に注目してもらいたいのが、病院の中心です。救命救急センター、周産母子成育医療センター、集学的がん治療センターなどを設置し、北里の強みである先進的なチーム医療を幅広く実践できる体制を整えていく予定です。既に多くの医療関係者が注目していますが、どうぞ皆さんも期待してください。  
**坂部** はい、わくわくしますね。ところで、新病院にはヘリポートがあるようですが、ドクターヘリ用ですか。私は救急医療に興味があるので気になります。  
**柴** 北里では、今のところドクターヘリ運用の予定はありません。しかし、埼玉県北本市にある北里研究所メディカルセンター病院には既にヘリポートが設置されているので、新病院との間で患者のヘリ搬送を行うことは考えられます。また、2012年に圏央道の相模原インターチェンジができれば、桶川北本インターチェンジまでダイレクトに結ばれ、2つの病院間の移動や搬送の時間は一気に短縮されます。これによって患者さんに最適な医療環境とサービスを、よ

会とコンサートを行いました。講演会は、宇宙飛行士で東京お台場の日本科学未来館館長を務めている毛利衛さんをお招きして、「宇宙から見る生命のつながり」というテーマで夢のあるお話をさせていただきました。また、コンサートは、上杉春雄さんという神経内科医で

り速やかに提供することが可能になるでしょうね。  
**榎本** まずは完成が楽しみになってきました！  
**柴** ここにいる皆さんが社会に出て最初に活躍する舞台は、この新病院になるかもしれませんよ。

### 坂部勇太さん

医学部1年 滋賀県出身





2010年4月に誕生した学生の広報隊「北里キャンパスナビゲーター (KCN)」のメンバーと学長。学生のフレッシュな目線に立ったPR活動に、学長も大きな期待を寄せる。

学生の協力で北里のアピールを

**榎本** これまでお話を伺ってきて、私たち学生も、この記念事業に何らかの形で関わりたいなと思えました。何か参加できるイベントや企画は用意されていますか。

**柴** そうですね。まず、皆さんもご存知のとおり、北里大学には学生歌はあるのですが校歌がありません。ですから幅広い人から歌詞を公募して校歌を作ろうと考えています。

**植田** 私たち学生も応募することはできるのですか。

**柴** もちろんです。ぜひ、素晴らしい歌詞をお願いしますよ。それから、これはまだ具体的な企画はないのですが、私としては学生の皆さんに北里のことを学外に紹介していく活動に協力してもらいたいと考えています。他の大学などでは、学生が広く一般の方々を案内し、大学の特色やキャンパスの魅力伝えていきます。北里大学にも昨年、学生の広報隊「北里キャンパスナビゲーター (KCN)」が誕生しましたが、学生の力を借りることで、もっと存在感や魅力をアピールできるのではないのでしょうか。

**坂部** アピールの必要性は確かに感じます。私は関西出身ですが、地元では北里大学の名前を知らない人も多いためです。

**柴** そうなんです。医療関係者の間では、全国的に知名度も評価も高いのですけれどね。もっと一般の方に知っていただくことが北里の今後の課題のひとつです。そのためには、学生一人ひとりが母校の後輩をはじめ外部の方々に情報を発信してもらえたら心強いですね。

次代の飛躍をめざして

**植田** 学長が母校の将来を真剣に考えていらっしゃることが、これまでのお話でよく伝わってきました。ところで、後輩にあたる今の学生の様子は、学長の目にどのように映っているのでしょうか。

**柴** はい。これは北里の校風でもあるのですが、皆さん非常に真面目で頼もしいですよ。一つ助言するとしたら、ぜひ、自分が本当にやりたいことを見つけてほしい、ということですね。昔の話ですが、私は高校のとき本当は別の大学の医学部を志望していたのです。

だったのですか。

**柴** 講義や実習は、北里と関係の深い慶応義塾大学の医学部からも有名な先生が教えに來られたりして、とても面白く、夢中で取り組みましたね。スポーツが大好きだったので、テニス部の活動にも熱中しました。そして大学3年のとき、後の専門となる「分子生物学」という学問に出会い、研究者の道に進んだんです。

**坂部** まさに自分がやりたいことを追求してこられたんですね。

**柴** そうです。だから自分が歩んできた道にまったく悔いはありません。周囲の環境にも恵まれていましたし、研究者としても教育者としても、本当にいい経験を積んでくることができました。

**榎本** 私は将来、自己発信ができる放射線技師になるのが目標なのですが、今のお話には勇気づけられます。

**柴** ぜひ、がんばってください。とにかく、30歳、40歳くらいまでに必ず、自分の目標を見つけて、全力で取り組んでほしいですね。そうした真剣な努力は、必ず自分自身の未来を切り拓くとともに、北里大学を次代に向けてさらに飛躍させる推進力になるはずですよ。今後の皆さんの活躍に大いに期待していますよ！

**学生一同** はい、がんばります！今日ありがとうございました。



写真上：第11回ローベルト・コッホ研究所/北里研究所・北里大学合同シンポジウム

写真下：医学部創立40周年記念講演会&コンサート

も、受験数ヶ月前の国体に出場するほどヨットに打ち込んでいて、勉強は後回しになり、当然ながら不合格でした。その発表のときに、たまたま北里大学衛生学部の学生募集を目にして入学を決めたんですよ。

**榎本** 周囲は驚きませんでしたか。

**柴** 両親は猛反対です。しかし、北里の衛生学部なら、もともと自分がやりたかった基礎医学を学べると思ったので私も折れませんでした。そのうち両親も北里研究所が創設した大学であることがわかり安心したようです。やはり北里柴三郎博士と北里研究所の信頼、知名度は非常に高いものがありましたね。

**植田** 入学後はどのような学生生活

る教育・研究・医療活動、今後の展開などをまとめた記念誌を刊行し、北里のアイデンティティを広く社会に周知します。

**●北里大学校歌の制定**  
建学の精神を後世へと伝えていく、北里スピリッツが込められた歌詞を公募。学生や北里関係者が北里への愛着や誇りを共有するとともに、学内外の多くの人々に愛され歌われ続ける校歌を制作します。

その他、学生企画のイベントや記念懸賞論文の募集、北里大学同窓会との連携によるホームカミングデーの開催、記念切手や記念グッズの制作・販売など、さまざまな記念事業関連企画を検討し、実施していきます。

Kitasato 100×50プロジェクト 今後の予定

- 北里大学創立50周年記念事業振興基金の創設**  
北里大学創立50周年を記念して学事振興基金を創設し、経済支援や学業奨励を目的とした新たな奨学金制度を設けるなど、学生支援の一層の充実を図ります。
- 記念行事(祝賀会、記念学術講演など)の開催**  
北里研究所創立100周年・北里大学創立50周年にあたり、祝賀会や記念学術講演会、シンポジウムなどを開催。北里に縁のある多くの方を招待し、これからの北里の指針を国内外に向けて広く発信します。
- 北里研究所創立100周年・北里大学創立50周年記念誌の刊行**  
北里が築き上げてきた歴史や伝統と時代背景、現在、取り組んでい



**記念ロゴ**  
北里研究所そして北里大学、2対の瞳が見つめるのは次の世紀です。グリーンは大地の緑、ブルーは大空と大海の青。2色のアースカラーがひとつになり、次代においても生命科学の先駆者であり続けること、未来の地球社会にさらなる貢献をしていく決意を示しています。



**ブランドロゴ**  
北里柴三郎の精神、北里研究所・北里大学のこれまで、そして新しいキタサトのこれから。100周年と50周年の全てをロゴ化しました。格調高い表現で、「北里」の新時代を宣言します。このロゴは主に記念グッズのモチーフとし、さまざまな形で記念品や日常用品などに活用します。